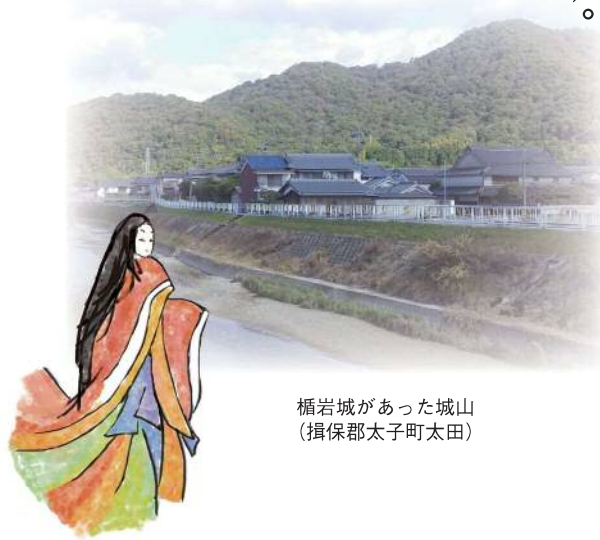


# 大津茂川とお姫様

太子町太田

むかし、楯岩城には十才になる美しいお姫様がいました。ある、秋の夕暮れ時、三百もの敵兵士が攻め込み、味方は無勢で敗北したとの知らせが届きました。驚いた殿様は、大急ぎでお姫様に逃げるように命じ、お姫様が山をおり小舟に乗って大津茂川を下りて、ちようど浄因寺のあたりまできたときに山を見ると、城は焼け落ちみな討ち死にしてみましたのでした。お姫様は、あまりの悲しさに

涙がとめどなく流れ、優しい里人達との楽しい盆踊りや、秋祭を思い出していました。「父や母、家来たちのあとを追って死のう。そして里人達のために大津茂川の主となって、川の流が絶えないように守ろう。」と決心をし、大津茂川に身を投げたそうです。それから、大津茂川に水の枯れることはなくなりましたそうです。



楯岩城があった城山  
(揖保郡太子町太田)